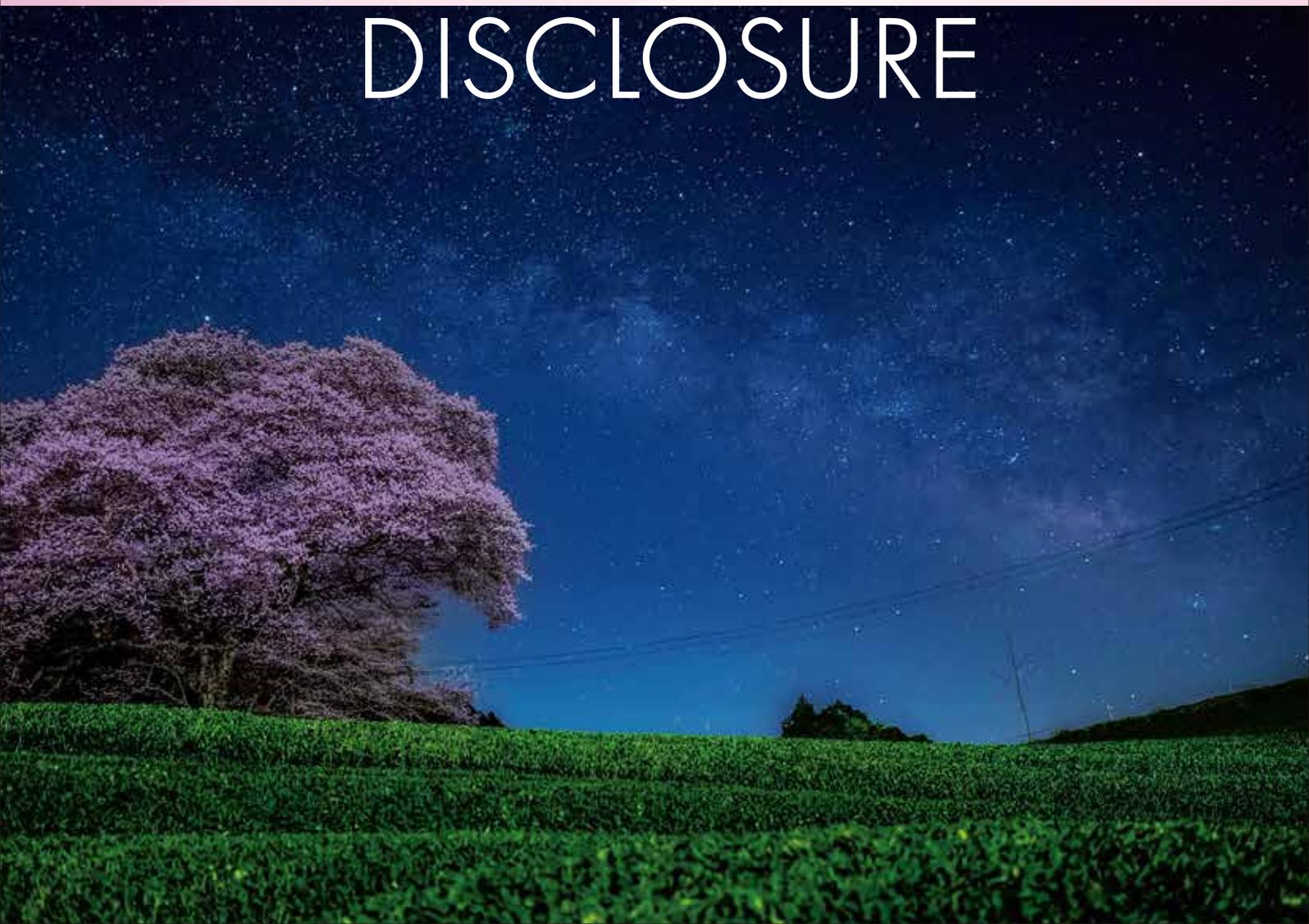




KENSHINREN  
静岡県信連

2024 ディスクロージャー誌  
静岡県信連の現況

DISCLOSURE

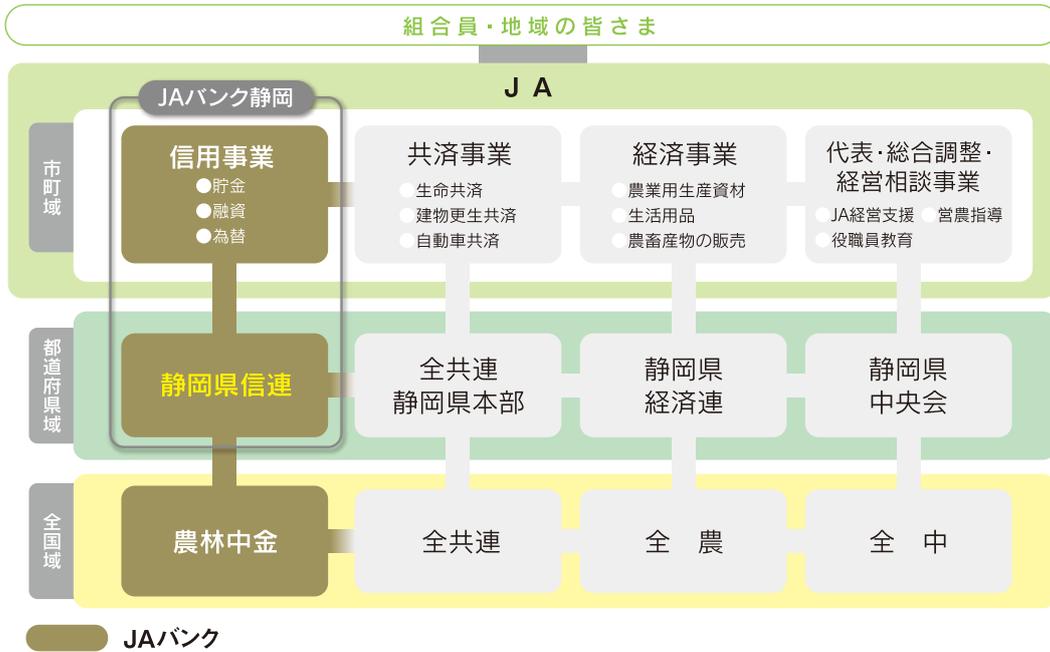


# 静岡県信連・JAバンク静岡とは

## JAグループの枠組み

「JA」は、信用事業、共済事業、経済事業、経営相談事業等の様々な事業を行っています。このうち、信用事業は総称して「JAバンク」と呼ばれており、各地域のJAと各都道府県域において信用事業の本部機能を担う信用農業協同組合連合会（信連）、全国域の本部機能を担う農林中金とで「JAバンク」グループを形成しています。また、静岡県のJA信用事業と当会を「JAバンク静岡」と総称しています。

JAグループ組織図



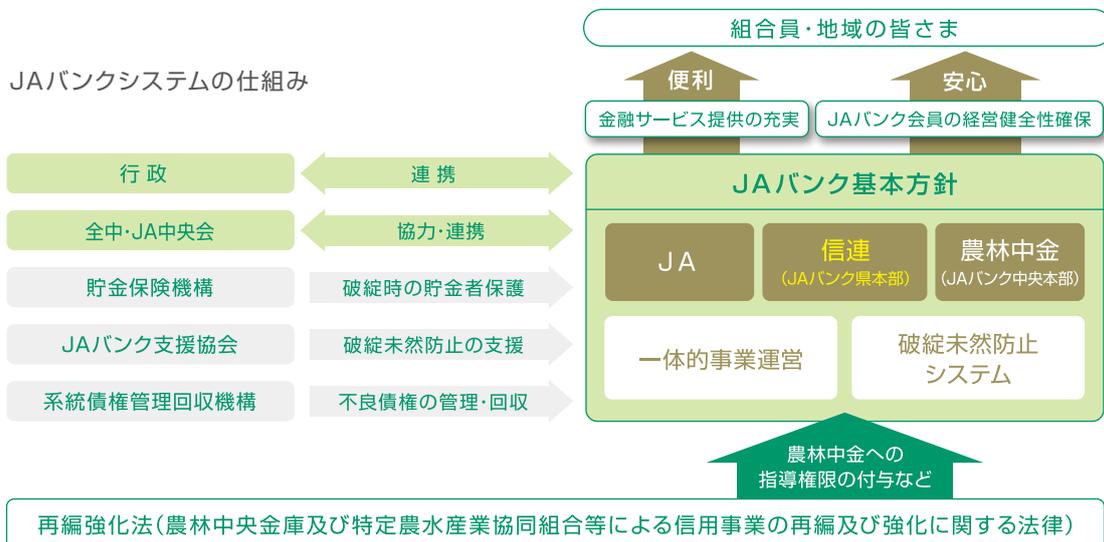
## JAバンクシステム

「JAバンクシステム」とは、再編強化法に則り、JAバンク会員総意のもと策定された「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が実質的に一つの金融機関（JAバンク）として機能し、一体的に事業運営に取り組むシステムです。

金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」と、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」の2つの柱で、組合員・地域の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をご提供します。

JAバンクは豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・地域の皆さまに貢献しています。

JAバンクシステムの仕組み



## 静岡県信連の概要

設立：昭和23年8月

住所：静岡市駿河区曲金三丁目8番1号

会員数：43会員(正会員23会員／准会員20会員)

<https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/>

出資金：1,613億円

役員数：経営管理委員10名／理事5名／監事3名

職員数：267名(男性164名／女性103名)

(令和6年3月31日現在)

## 業務のご案内

### 貯金等窓口業務

様々な貯金商品の取扱いや公金・公共料金等の収納業務、国債・投資信託の窓口販売及び信託代理店業務を行っています。



### 融資業務

農業及び地域発展に寄与する一般企業・団体の設備資金や運転資金等の融資業務を行っています。



### 為替・決済業務

静岡県下JAの為替決済本部として、全国のJA並びに銀行・信用金庫等との為替取引をはじめ、口座振替等の各種決済業務を行っています。



### 受託貸付業務

日本政策金融公庫の取扱店として、農業生産基盤の向上や新たに農業経営を開始するために必要な長期低利資金を取扱っています。



### 資金運用業務

農林中金及び銀行への預け金や有価証券・金銭債権等により、安全かつ効率的な運用を行っています。



### 電算業務

JAの組合員・地域の皆さまに貯金・融資・為替・自動振替等のオンライン金融サービスを提供しています。



### 相談・研修業務

JAの信用事業における事務処理や金融取引等で発生する法務・税務に関する相談に対応しています。そのほか、JA職員向け研修会等に取り組んでいます。



### 系統金融企画・推進業務

静岡県下JA全体の事業運営に係る企画、JAの金融事業活動に関する支援、JAの内部管理態勢の強化支援に取り組んでいます。



## 静岡県信連店舗一覧

### 本店

#### ●静岡県農業会館 **ATM**

〒422-8621 静岡市駿河区曲金三丁目8番1号  
1F 営業統括部(窓口・融資事務グループ)  
資金運用部／総務部  
経営企画部／リスク統括部  
TEL.054-284-9652

#### ●静岡県農業会館第二ビル

〒422-8621 静岡市駿河区曲金三丁目8番1号  
1F JA企画推進部 TEL.054-286-0099  
JA経営指導部 TEL.054-284-9527  
2F 食農営業部 TEL.054-284-9684  
営業統括部(窓口・融資事務グループ)  
農業部 TEL.054-284-9528  
3F 営業統括部(営業統括グループ)／リスク統括部  
5F 監事室／監査部

#### ●事務センター

〒422-8691 静岡市駿河区豊田一丁目4番15号  
3F システム統括部  
JA事務管理部 TEL.054-284-9676

#### ●グループ会社

株式会社静岡県信連ビジネスサービス  
株式会社静岡ジェイエイサービス  
一般社団法人静岡県農協保証センター  
静岡県農業信用基金協会

### 営業部

#### ●富士営業部

〒416-0907 富士市中島397番地の2  
TEL.0545-61-1550

#### ●浜松営業部(イーステージ浜松1F)

〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目2番1号  
TEL.053-453-0121

### 店舗外ATM設置場所

(令和6年7月1日現在)

#### ●静岡駅アスティ



●静岡県農業会館



●静岡県農業会館第二ビル



●事務センター



●富士営業部



●浜松営業部



©よりぞう

# 経営方針

理念

## 経営理念

### 経営方針

静岡県信連として永続的に追求する**存在意義・使命**

### 理念

静岡県信連が大切にする**経営の考え方**

目指す姿

## Vision

経営理念を追求するうえで、静岡県信連としてどうあるべきかという目指すべき姿を表現した**将来像**



価値観

### 行動規範

理念・Visionを追求するうえで、静岡県信連として**どのようにすべきか**を示すもの

### 役職員の行動指針

理念・Visionを追求するうえで、静岡県信連の役職員として**どのように考えどのように行動すべきか**を示すもの

経営計画

## 中期経営計画

Visionの実現に向けて、何を実践していくかを示した**具体策・計画**(事業活動の基本)

### Mission[使命]

- 食農ビジネス
- JA支援
- 投融资

### Base[基盤]

- 経営基盤

当会は、“農協金融を協同の精神で支援する県単位の連合組織金融機関”であるとともに、“地域社会と地域経済に密着した金融機関”として会員・お客さまの期待と信頼にこたえることを使命とします。

## 理念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を発揮します。
- 創造性ある金融サービスをとおして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

## Vision



**concept**

静岡の誇る食と農を未来へとつないでいくため、ヒトと地域、食農分野をつなぎ、静岡の農業の発展になくてはならない存在となることを目指す。

## 行動規範

### 連合組織金融機関

- 系統金融機関として資金の運用と信用秩序の維持機能の役割を担い、自己責任に基づいた健全経営を確立し、会員への安定的利益還元と機能提供を図ります。

### 地域金融機関

- 金融サービス、情報の提供をとおしてお客様の豊かな暮らしに貢献します。
- 地域のパートナーとして農業の発展と地域経済に貢献します。
- 緑を大切に生活環境に根ざした文化活動に貢献します。

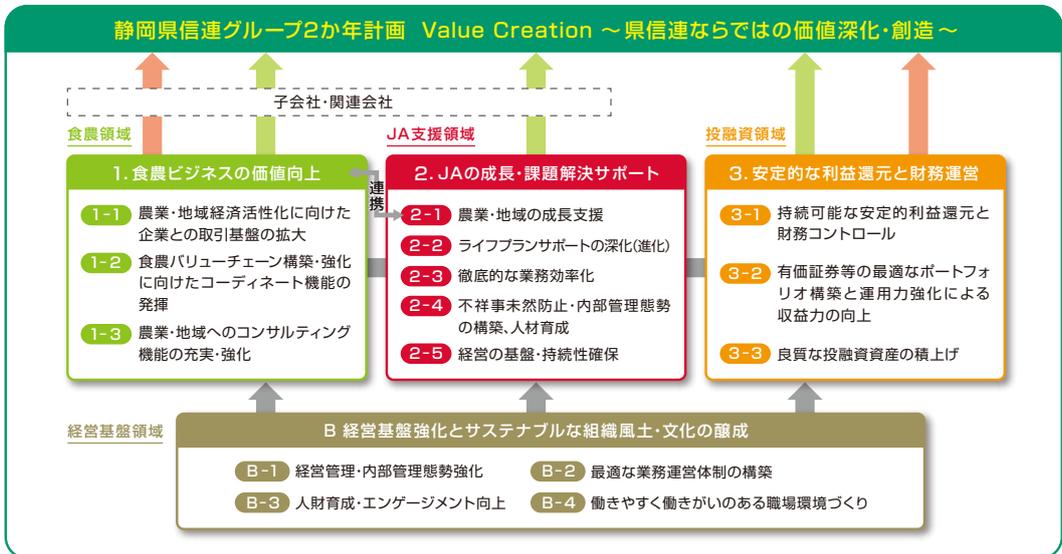
### 組織・職場の活性

- 職員の個性を大切にし金融のスペシャリストを目指し幅広い視野に立って能力の開発と人材の育成を実践します。
- 系統金融組織と職場の合理性・効率性を常に追求し、自由闊達な職場風土を作ります。

## 役職員行動指針

- 信頼に対し実意(誠意・熱意・好意)を持って行動します。
- 社会的公共性を踏まえその責務を果たします。
- 創造性と協調性をもって目標に向かい邁進します。
- 主体性ある行動により改革と飛躍を目指します。
- 豊かな人間性とやりがいを創出し幸福を追求します。

## 中期経営計画



## 静岡県信連のサステナビリティ

静岡県信連グループは、食農分野において存在感を発揮し、農業・地域になくてはならない存在となるべく、“Vision(目指す姿)”「Agrigional Coordinator ～食と農を未来へヒトと地域をつなぐ信連へ～」を設定し、実践しています。“Vision”を実現させることで、「持続可能な農業・地域の成長・発展への貢献」に繋がり、当会の存在意義を発揮することができると考えます。

“Vision”を実現するためには、「中期経営計画」の実践を通じて、「食農領域への貢献や会員JAへの機能還元・利益還元」により当会の価値を深化・創造させ、持続可能な農業・地域の成長・発展に貢献することが、当会の『サステナブル経営』であり、この考え方を根本思想と位置付けています。

## 重要課題 (マテリアリティ) の特定と主な取組み

2023年度にスタートした中期経営計画において、当会が注力すべき3つの重要課題(マテリアリティ)を設定しました。

これらは当会が地域社会と農業の持続的発展に貢献していくため、地域社会、会員、環境、職員などのステークホルダーそれぞれに価値を提供する過程において、特に重視すべき課題を抽出・整理したものです。

重要課題の詳細は、当会HPをご参照ください。

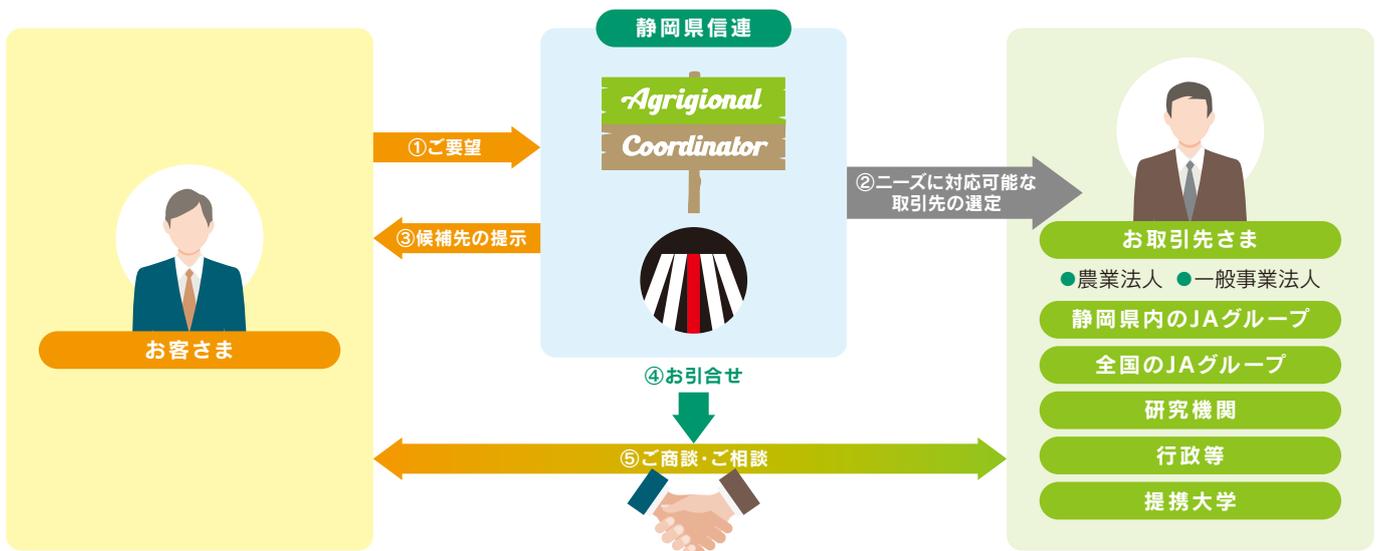
▶ <https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/company/>



## 重要課題01 持続可能な農業・地域社会の実現に向けた取組み

### 1 ビジネスマッチング

お客さまの経営課題解決のため、当会の情報ネットワーク活用や関係機関との連携により、新たな販売先や仕入先、専門家等、最適なビジネスパートナーをご紹介させていただき、お客さまのビジネスチャンスの創造と事業展開を応援いたします。



### 主なご提案メニュー

販売・供給拡大	農業参入	経営最適化	研究	ファイナンス	SDGs
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 販路開拓の支援</li> <li>▶ 販売チャネルの多様化</li> <li>▶ 輸出・海外展開の支援</li> <li>▶ 農産物調達先の紹介</li> <li>▶ 仕入先・納入業者の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農業参入手続き支援</li> <li>▶ 農地の紹介支援</li> <li>▶ 営農指導先の紹介</li> <li>▶ 補助金・助成金情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 労働力確保に向けた支援</li> <li>▶ 事業承継の支援</li> <li>▶ M&amp;Aの支援</li> <li>▶ 福利厚生の充実</li> <li>▶ 不動産情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 研究機関の紹介</li> <li>▶ 新技術の紹介</li> <li>▶ スタートアップ企業の事業化支援</li> <li>▶ 食品成分分析・鑑定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出資会社の紹介</li> <li>▶ リース会社の紹介</li> <li>▶ 補助金・助成金情報の提供</li> <li>▶ 制度資金の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CO2排出量計測</li> <li>▶ 自家消費型太陽光発電</li> <li>▶ ソーラーシェアリング</li> <li>▶ 省エネ・コスト削減</li> </ul>

### 農業現場における労働力確保に向けた支援

農業生産法人の人手不足ニーズと一般事業会社の法定雇用率の対応ニーズに対し、(株)農協観光が実施する農福連携事業を活用し、両社の経営課題解決に取り組み生産現場での労働力確保と障がい者の雇用創出を支援しました。

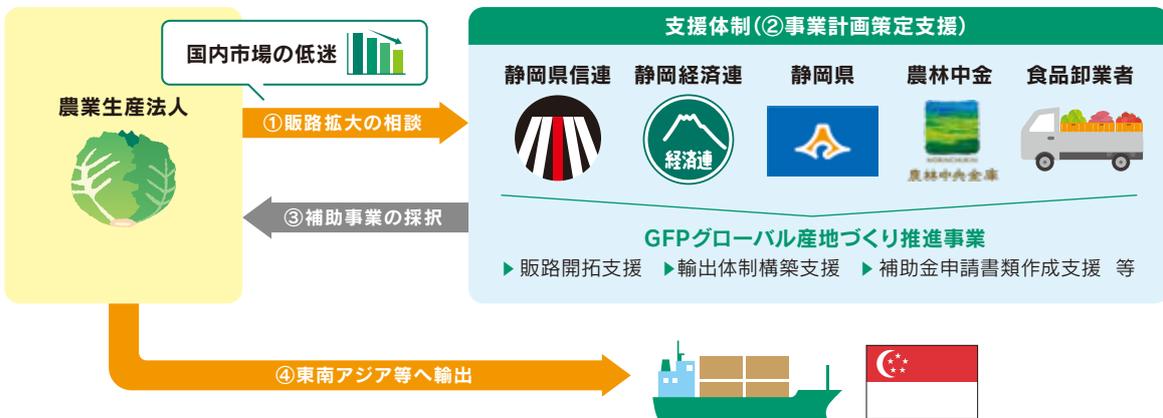


農福連携とは

- ▶ 障がい者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組み
- ▶ (株)農協観光では、障がい者を雇用した一般事業法人と農業法人との橋渡しを実施する「農福連携事業」を実施しています

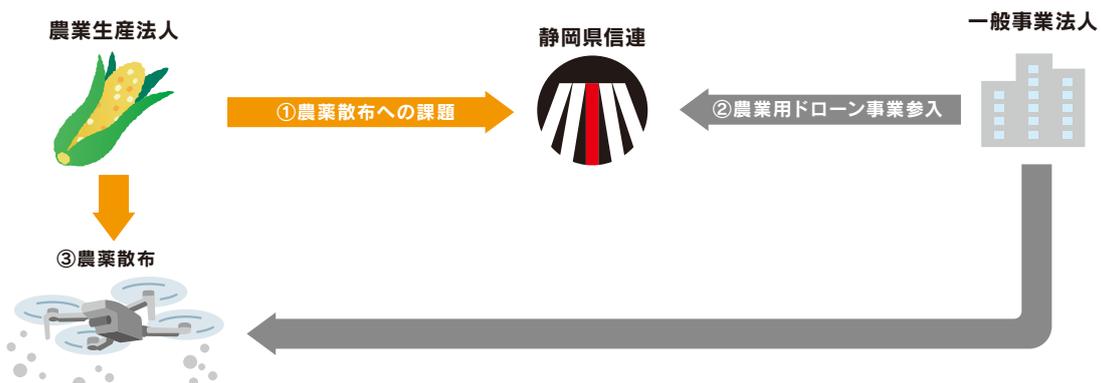
### 農業生産法人による農産物の輸出支援

レタスの国内相場が低迷するなか、新たな販路として「GFPグローバル産地づくり推進事業(農林水産省)」を活用した海外輸出を農業生産法人へ提案。関係機関と連携し事業計画の策定等、補助事業への申請支援を実施し、シンガポールへの輸出実現に至りました。



### 農業現場におけるドローンの活用支援

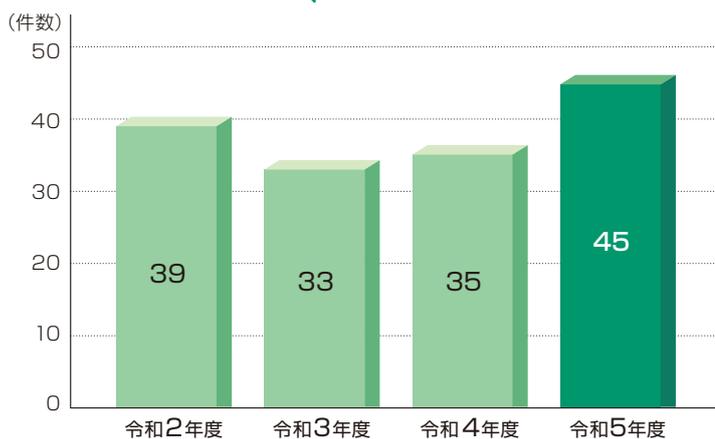
農業生産法人においてトウモロコシの農薬散布にかかる労力・コストが課題となっていたなか、ドローンを用いた農薬散布事業に新規参入した一般事業法人を紹介。スマート農業の普及により農薬散布の省力化・効率化が図られました。



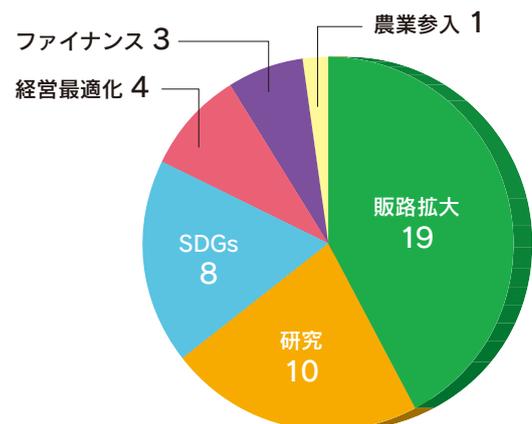
## 系統組織と連携した主な成約事例

	連携先	ニーズ内容	マッチング先	概要
販路拡大	建設業	取引先への贈答用農産物の紹介	JAふじ伊豆	JA管内の農産物8種類の購入が決定
	卸売業	キウイの購入先の紹介	JAしみず	JA管内にて取り扱う「キウイ」4tの購入が決定
	業務用食品卸	葉生姜の調達先の紹介	JA静岡市	JA管内葉生姜生産部会員からの調達が決定
	卸売業	県内農産物の仕入先の紹介	JAふじ伊豆	経済連経由にて7品目の取引開始
	農業生産法人	農産物(レタス)の輸出及び補助金の紹介	農林中央金庫 JA静岡経済連	「GFPグローバル産地づくり推進事業」(輸出支援)に採択
	廃棄物処理業 (金物等資材販売 代理店)	獣害対策用金網の販売先の紹介	JA遠州中央	JAにて獣害対策用金網の取扱いが決定
研究	農業資材開発	植物活性剤の実証試験及び販路開拓	JAふじ伊豆	管内圃場にて、ナス・ブロッコリー・イチゴ等の実証試験が決定
			JA大井川	管内レタス農家にて、実証試験が決定
	有機質肥料開発	高機能バイオ炭の実証試験及び販路開拓	JAふじ伊豆	管内セルリー農家にて、実証試験が決定
			JA遠州中央	管内キャベツ農家にて、実証試験が決定
経営最適化	農業生産法人	生産規模拡大に伴う農地及び生産施設の紹介	JAふじ伊豆	JA組合員が所有する農地及び生産施設の賃貸契約が成立
	農業生産法人	農業現場における労働力の確保	(株)農協観光	農福連携事業を通じて採用が決定
ファイナンス	農業生産法人	茶畑整備の機械導入にかかる購入先の紹介	JA三井リース(株)	ストーンピッカー(石礫除去機)導入に際し、リース対応が決定

## 食農関連ビジネスマッチング成約件数推移



## 令和5年度食農ビジネスマッチング成約内訳



## 2 JAバンク静岡アグリサポートプログラム

JAバンク静岡では、平成28年度よりJAバンク全国施策ではカバーしきれない領域を補充すべく、全国施策と併せて「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」を展開し、県内農業者の所得向上及び持続的な発展に向けた取組みを実践しています。

### 令和5年度実施施策

施策	内容
JAバンク静岡保証料助成	農業資金のお借入をされる農業者を支援するための保証料助成による金融支援。
災害対策資金	県内で発生した自然災害等により被害を受けた農業者の早期復旧を支援するための利子補給・保証料助成による金融支援。
担い手育成支援	農畜産業の担い手の育成や、地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げるため、県内の農業高校等の学生が行う研究等に対する費用助成。
親元就農支援	若い労働力の確保や後継者育成に繋げるため、親元就農者の知識や技術習得のために支出した費用を助成。
JAバンク利子補給(全国施策)	農業資金の融資を受ける農業者の借入負担の軽減を図り、経営をバックアップするための利子補給による金融支援。



## 3 県内小学校への教材本贈呈

県内512校の小学5年生に、食・環境・農業・金融経済をテーマとした補助教材を贈呈しました。

## 4 特殊詐欺未然防止対応

高齢利用者を対象に、令和5年4月よりATMの利用制限の内容を変更し、更なる被害防止及び被害額の極小化に努めています。

## 5 ローンキャンペーンを通じたSDGs達成に向けた取組み

キャンペーン対象ローン実行額の合計100万円につき100円を「ふじのくに美しい森林づくり緑の基金」(静岡県森林組合連合会)に拠出しました。

## 6 「フードバンクふじのくに」への食料の寄贈

令和5年7月に「カロリーメイト(780食)」、「保存クラッカー(800食)」を「フードバンクふじのくに」へ寄贈しました。



## 重要課題02 環境負荷の低減に向けた取組み

### 1 TCFD 提言への取組み(気候変動に対する対応)

TCFD\*の提言を踏まえた開示内容の充実を図っていくとともに、農業・地域の円滑な脱炭素社会への移行に向けて取り組んでいきます。

\*Task Force on Climate related Financial Disclosures(気候関連財務情報開示タスクフォース)

TCFD提言への取組み ▶

[https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/wordpress/wp-content/uploads/2023/11/tcf\\_d\\_r509.pdf](https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/wordpress/wp-content/uploads/2023/11/tcf_d_r509.pdf)



サステナビリティ基本方針 ▶

<https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/pdf/sustainability-policy.pdf>



### 2 温室効果ガス排出量(GHG)削減の指標と目標の設定

2030年度における温室効果ガス排出量(GHG)削減目標を「2013年度比50%の削減」と定めて環境負荷の低減に努めます。

### 3 サステナブル・ファイナンスの指標と目標の設定

2030年度までにサステナブル・ファイナンスを累計で1,000億円実行する目標を設定しています。

サステナブルファイナンス方針 ▶ <https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/pdf/sustainable-finance-policy.pdf>



## 重要課題03 サステナブルな職場環境構築に向けた取組み

### 1 ハラスメントのない働きやすい職場環境の構築に向けた取組み

ハラスメント行為は経営上の重大なリスクであるという認識のもと、「ハラスメント行為を絶対に許さない」というトップメッセージを役職員に対して発信するとともに厳格な内部ルールを整備しています。

### 2 一般事業主行動計画(次世代法・女性活躍推進法一体型)

職員全員が働きやすい雇用環境をつくることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮し、また、女性がより多様に活躍できるようにするため、行動計画を定め、実践しています。



# 業績

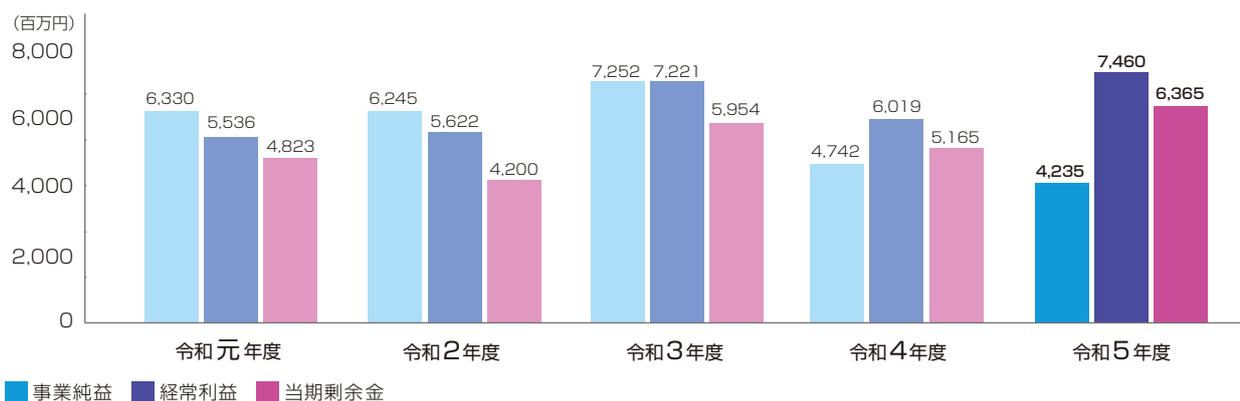
## 最近の5事業年度の主要な経営指標

(単位: 百万円、口)

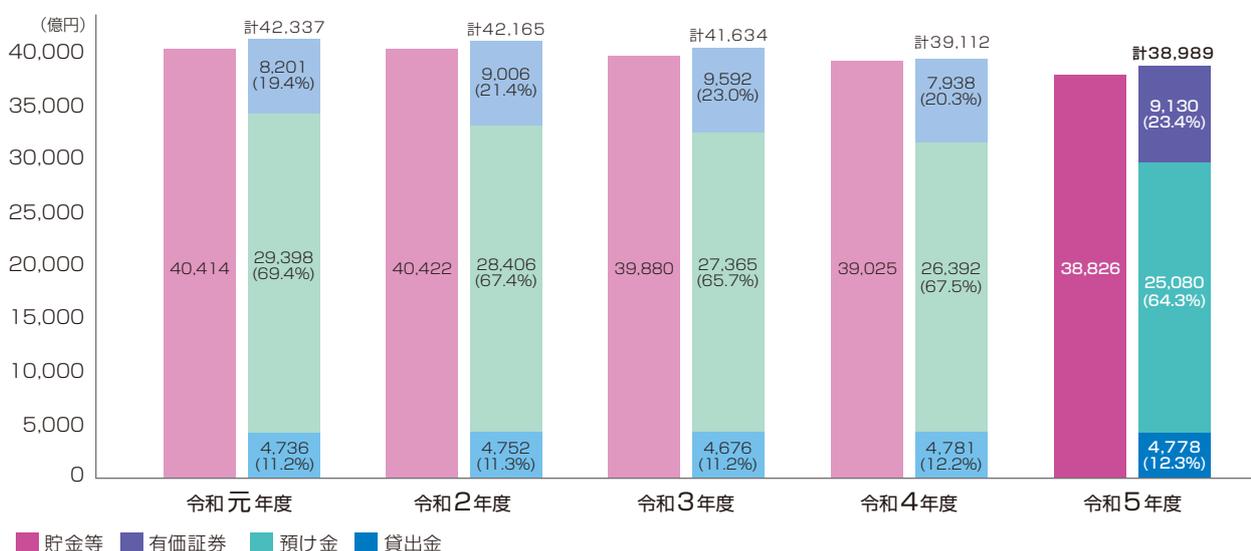
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	39,662	39,036	41,852	52,381	41,529
事業純益	6,330	6,245	7,252	4,742	4,235
経常利益	5,536	5,622	7,221	6,019	7,460
当期剰余金	4,823	4,200	5,954	5,165	6,365
出資金 (出資口数)	111,302 (11,130,255)	161,302 (16,130,255)	161,302 (16,130,255)	161,302 (16,130,255)	161,302 (16,130,255)
純資産額	226,873	291,849	287,329	273,875	290,873
総資産額	4,509,663	4,509,088	4,472,499	4,233,495	4,232,015
貯金等残高	4,041,456	4,042,224	3,988,067	3,902,581	3,882,651
貸出金残高	473,697	475,297	467,683	478,127	477,837
有価証券残高	820,156	900,624	959,290	793,882	913,064
預け金残高	2,939,848	2,840,645	2,736,519	2,639,289	2,508,022
剰余金配当金額	3,959	3,138	3,502	3,105	3,816
職員数	271名	262名	269名	271名	267名
単体自己資本比率	13.48%	15.27%	15.54%	15.36%	16.11%

※「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示第2号)に基づき算出しています。

## 利益の推移

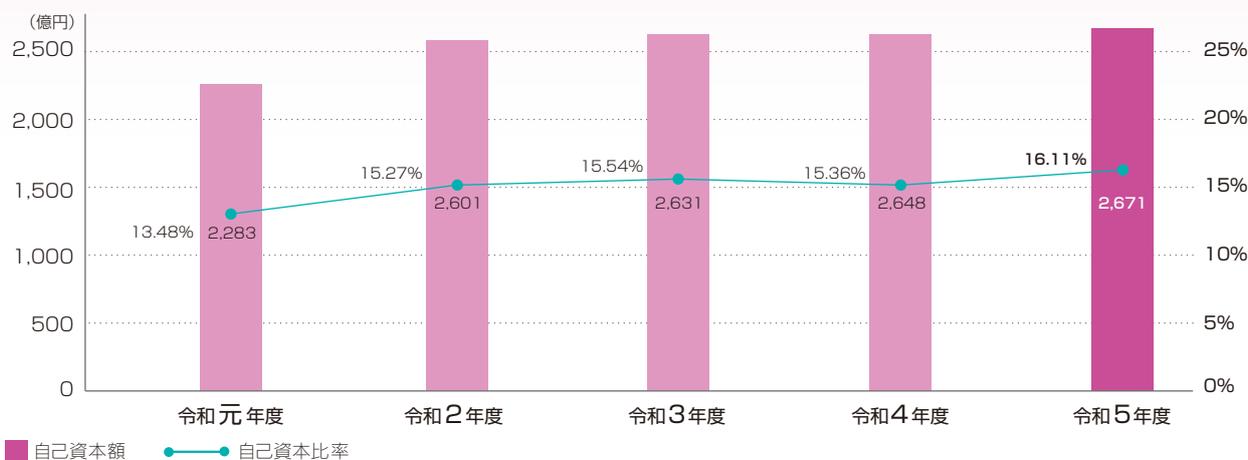


## 調達資金と運用資金の推移



※( )内は運用資金の構成比です。

## 自己資本比率の推移



一般に自己資本比率とは、貸出金や有価証券等で運用している「総資産」に対する「自己資本」の割合をいいます。不測の事態における金融機関の拠り所は自己資本であり、自己資本比率は、金融機関の健全性を測る重要な指標です。農業協同組合法等の法令では、自己資本比率が4%未満(国内基準)のJA・信連に対し、経営の改善及び業務の停止等の命令が発令されることが規定されていますが、令和5年度の当会の自己資本比率は16.11%と発令基準である4%を大きく上回っています。

## リスク管理債権及び金融再生法に基づく開示債権

厳格な資産査定を行うとともに、適正な引当金を計上し、資産の健全化を図っています。

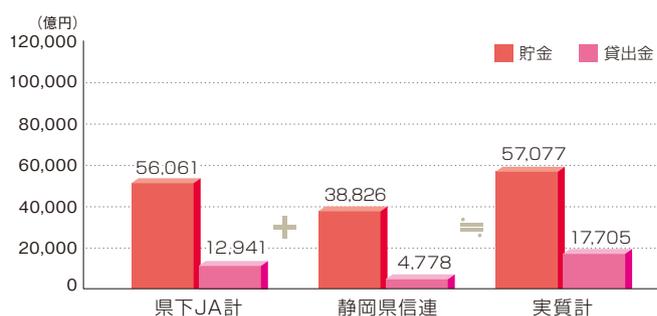


## JAバンク静岡のちから

静岡県内でも有数の豊富な資金を有しています。

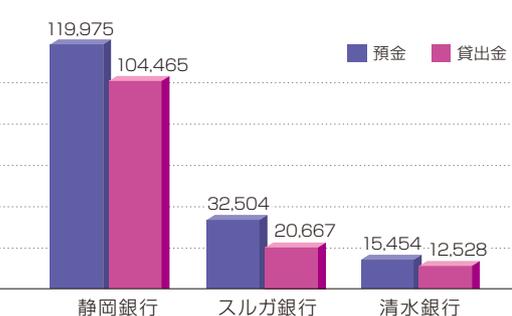
(令和6年3月末)

### 静岡県下のJAバンク



※ 1.「実質計」は静岡県下JAと静岡県信連の相互取引分を除外した純合計額を表示しています。  
2.「静岡県信連」の貯金額には譲渡性貯金を含んでいます。

### 静岡県下の地銀3行



※ 各行の残高は単体の実績を表示しています。



JAバンク 静岡  
県下JA・静岡県信連

静岡県信用農業協同組合連合会

〒422-8621 静岡市駿河区曲金三丁目8番1号 TEL.054-284-9652 FAX.054-284-9694

<https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/>

●表紙写真:「春暁の空に(烏田市)」安池 理恵



●静岡県信連は、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。  
●この印刷物は環境に配慮し植物油インキで印刷しています。

